

*Digest of Science of Labour*

# 労働の科学

労研創立  
**100**周年  
1921→2021

2021  
*August*  
Vol. 76, No. 8



特集

## 人生100年時代、生涯現役を目指して

「定年なき雇用」で高齢者が活躍の職場を創出／市川慎次郎  
廃材を利用した自作のバイオリンでオーケストラに参加／塚本義房  
「人は宝・人は財産」の理念のもと高齢者の就労をサポート／村関不三夫

巻頭言

労働科学研究所と共に100年  
柴田眞利

凡夫の安全衛生記⑤⑥  
福成雄三

連載

芸能従事者の今③  
森崎めぐみ

連載

HLOインド・南アジアこぼれ話⑤  
川上 剛

# 労働の科学

2021  
August  
Vol. 76, No. 8

巻頭言

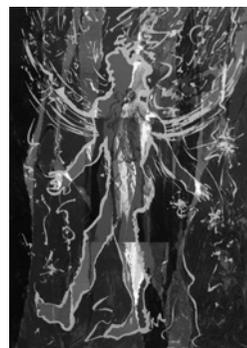
俯瞰 (ふかん)

創立百年——これからの労研の役割とあり方⑧

労働科学研究所と共に100年

1

柴田 眞利 [柴田科学株式会社 代表取締役社長]



表紙作品：山本美智代

「U・F・Oでやって来た」

シルクスクリーン (58×41cm)

表紙デザイン：大西文字



## 人生100年時代、 生涯現役を目指して

「定年なき雇用」で高齢者が活躍の職場を創出

..... [株式会社横引シャッター] 市川 慎次郎 ..... 4

廃材を利用した自作のバイオリンでオーケストラに参加

..... [バイオリン製作者] 塚本 義房 ..... 8

「人は宝・人は財産」の理念のもと高齢者の就労をサポート

..... [株式会社高齢社] 村関 不三夫 ..... 12

### Graphic

広がる参加型職場環境改善 8 [見る・活動](127)

..... 仲尾 豊樹 ..... 口絵

## Series

ILOインド・南アジア こぼればなし (5) ネパールの小規模建設現場から .....	川上 剛 .....	16
「#教師のバトン」で伝わる (5) 教職員の過酷な勤務環境 .....	藤川 伸治 .....	20
チャレンジ!SDGs (4) ダイバーシティは“DEI”へ進化する .....	泉 貴嗣 .....	24
芸能従事者の今 (3) 特別加入労災の地域要件の緩和と沖繩 .....	森崎 めぐみ .....	26
労研アーカイブを読む (70) 潜在連合テスト (IAT) による潜在的態度の測定 .....	椎名 和仁 .....	32
「働き方の未来を50人が読む」調査を行いました 大原記念労働科学研究所「働き方の未来を50人が読む」 プロジェクトチーム 浜野 潤・北島 洋樹・酒井 一博・坂本 恒夫・福島 章・松田 文子・余村 朋樹 .....		38
一筋の光明ー同志社大学神学部へ 大原孫三郎と清水安三 (6) .....	兼田 麗子 .....	40
凡夫の安全衛生記 (55) 「情報共有を力にしたい」啓発資料の作成 .....	福成 雄三 .....	44
漂流者たち クミジヨの肖像 (6) クミジヨ研究はなぜ存在しないのか (5) .....	本田 一成 .....	46

## Column

休息時間を法制化しよう 副題: 過剰な長時間労働を抑制するもう一つの仕組み (3) ....	寺内 宏伸 .....	49
BOOKS 『新・大学でなにを学ぶか』 一匹と九十九匹と .....	椎名 和仁 .....	56
労働科学のページ .....		57
次号予定・編集雑記 .....		64

# 労働科学研究所と共に100年

柴田 眞利

まずは労働科学研究所創立100周年にあたり、謹んでお祝いを申し上げますと共に、今後の益々のご発展を祈念申し上げます。

偶然にも、本年、弊社柴田科学も創業100周年を迎えており、研究所との御縁を感じずにはいられない記念の年となっております。小さな理化学ガラス加工会社だった弊社が環境測定機器分野に参入し、大きく飛躍するきっかけとなったのは、1951（昭和26）年5月、労働科学研究所の三浦豊彦先生と木村菊二先生にご指導頂き、「労研ろ紙じんあい計」を開発製造したことが始まりです。以来、勝木新次先生、沼尻幸吉先生、多田治先生、中明賢二先生、吉川徹先生といった諸先生方との知己を得て、研究所と共に歩んでまいりました。今日の弊社があるますのもひとえに、製品開発、製品性能評価において、労働科学研究所にご指導頂いた賜物と深く感謝しております。

思い返せば私も、当時弊社社長であった父・柴田晴通の将来を見据えた考えの下、大学時代に研究所の研修生としてお世話になり、短期間ではありましたが多くの事を勉強させて頂きました。1981（昭和56）年、東京築地の朝日新聞社に宿泊し、多田治先生と木村菊二先生と共に作業環境測定を行ったことはよき経験となり、今でも昨日のことのように鮮明に記憶しております。

そして現在、木村菊二先生と吉川徹先

生にご指導いただいた労研式マスクフイッティングテスター（MT-05U）が、新型コロナウイルス感染症による世界的なパンデミックの中で、感染対策をサポートするツールとして世界の人々の安全と健康に役立つっており、感慨深いものがあります。このコロナ禍以降、深いものがあるのに大きな変化がみられ、テレワークやオンライン会議、元々のIoTの兆しから大きくDXへの転換を急ぐ企業の動き等々、新しい働き方の模索が続いております。それに伴った新しい課題も現れつつあり、今後その課題がより鮮明になってきた時、まさに労働科学研究所の活躍が望まれるところです。

創立者・大原孫三郎氏や初代所長・暉峻義等氏等が目指した「働く者の安全・衛生・健康」への志は、一世紀を経た今も脈々と受け継がれており、現代社会では欠かすことのできない軸となっております。その一方で、労働者を取り囲む環境はめまぐるしく変化し続けています。

例えば、交代勤務などによる肉体的労働疲労から、労働者と機械の共存による疲労や労働者とIT機器の共存による疲労へと移り変わっており、肉体疲労に加え精神疲労への対応が急務となっております。また、作業環境においている作業場粉じんやガスが立ち上がりつつある作業場からきれいな作業環境へ様変わりしつつも、新たな物質・ガス等へ対応することをも求められています。そして、急速な少



しばた まさとし  
柴田科学株式会社 代表取締役社長  
大原記念労働科学研究所 評議員

子高齢化の進行により重要度が増している「高齢化社会の労働管理や安全管理」への取り組み、ITの進歩によるテレワーク等の拡大をはじめとした「働き方の多様化」へ対応した検討も必要となっております。

このような社会情勢の変化に対しても、これまでの労働科学研究所の「現場主義」に基づいた膨大な研究成果と同様、現場調査によって新たな課題を捉え、その解決に向けて積極的にアプローチしていくことを期待しています。

最後になりますが、弊社は働く人々の安全と健康、衛生や環境へのサポートを使命としてこれからも労働科学研究所と共に歩み、皆様の活動の一助となればと考えております。次の100年に向けて、労働科学研究所が大きく飛躍することを願ってやみません。



俯瞰 ぶんかん